

年頭のごあいさつ



茨城県知事
茨城県統計協会総裁

竹内藤男

明けましておめでとうございます。

県民の皆様には、お健やかに新春を迎えられたことと、心からお喜び申し上げます。昨年、皆様のご協力をいただき、多くの成果を

挙げることができました。厚くお礼を申し上げます。

本年は1991年、あと10年で21世紀を迎えます。私は、これまでに築いてきた県土の発展基盤や本県の持つ豊かな自然・文化・産業などをもとに、茨城が来るべき21世紀には日本をリードする県となるよう、

- ① 先端技術産業の一層の集積を図るとともに、産・学・官の協力による新しい技術開発等を促進し、世界の科学技術の振興に貢献する「科学技術の県」づくり
- ② 県民が主体となって芸術・文化、生涯学習など多彩な活動を行うことができる「文化の県」づくり
- ③ 人生80年時代にふさわしい医療・福祉の充実している「福祉の県」づくり

という3つの大きな目標に向かって、引き続き全力で取り組んで参る所存でございます。

また、新たな高速道路、常磐新線、常陸那珂港などの港湾の建設をはじめとする交通の整備と水資源の確保を強力に進め、「グレーターつくば構想」「常陸那珂地区開発」「グリーンふるさと振興機構による県北18市町村の振興」「鹿島地域における魅力ある街づくり」など、個性豊かな地域振興策の展開を図って参ります。

さらに、県民生活とかかわりの深い生活道路、上・下水道、公園などの生活基盤の一層の充実を図り、県民の皆様が真の豊かさを実感できる地域社会の実現と国際化社会への対応を目指し、時代を先取りした県政の推進に努めて参ります。

今年も、県民の皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

新年のごあいさつ



茨城県企画部長
茨城県統計協会会長

河崎 広二

新春を迎えるにあたり、皆様方のご多幸とご健勝を心からお祈り申し上げますとともに、日頃、統計行政にお寄せいただいておりますご支援、ご協力に対し厚くお礼申し上げます。

昨年は、2月に1990年世界農林業センサス、10月には統計調査のなかでも最も重要な調査である国勢調査が行われましたが、皆様方の多大なご尽力により円滑に実施することができました。深く感謝申し上げる次第であります。

さて、我が国の社会・経済情勢をみますと、21世紀まで最後の10年を迎え、絶え間ない技術革新、高度情報化・高齢化・国際化の進展など複雑多様化しております。

こうしたなかで、本県では県政を進める指針として、平成3年度から5か年間の「茨城県民福祉基本計画」を策定したところであります。今後、この基本計画を具体化することにより、21世紀の茨城の未来を切り開く県土づくりをすすめてまいりたいと考えております。

このような基本計画や諸施策の推進にあたっては、正確な現状把握と的確な将来予測が不可欠であり、その基礎資料となる統計の果たす役割は、ますます重要なものとなっている訳であります。

しかしながら統計を取り巻く環境は、住民意識の多様化、プライバシーの問題、統計に対する理解の不足などにより、依然として厳しいものがあります。このため、県としましても統計に関する広報活動を一層強化し、統計思想の普及啓蒙を図り、統計に対する県民の理解を深め、統計調査環境の改善に努めたいと思います。また、地域データの整備充実、調査結果の早期公表にも努め統計の利用促進を図っていきたいと考えております。

本年も事業所統計調査と商業統計調査の同時実施など各種の統計調査が行われます。どうか皆様におかれましては、統計のもつ社会的意義と重要性を十分ご認識いただき、本県統計事業発展のため、尚一層のご尽力を賜りますようお願い申し上げます。新年のごあいさつとします。